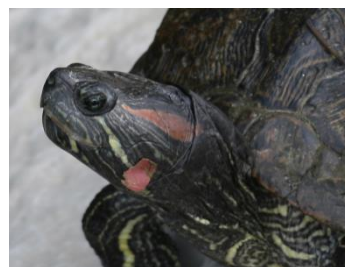
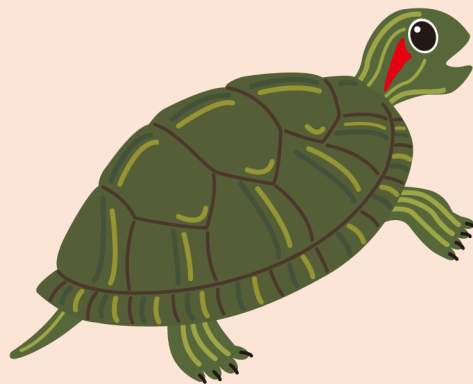


アカミミガメを知ろう！



アカミミガメは
こんなカメ



“アカミミガメ” はどっち？

甲らが緑色っぽい
茶色

顔の横に赤い
ライン



アカミミガメ
⇒外来種

甲らが黄色っぽい
茶色で、後ろの縁
がギザギザ



ニホンイシガメ ぜつめつきぐしゅ
⇒在来種 絶滅危惧種！！

問題 1

アカミミガメは、どこからやってきたでしょうか？

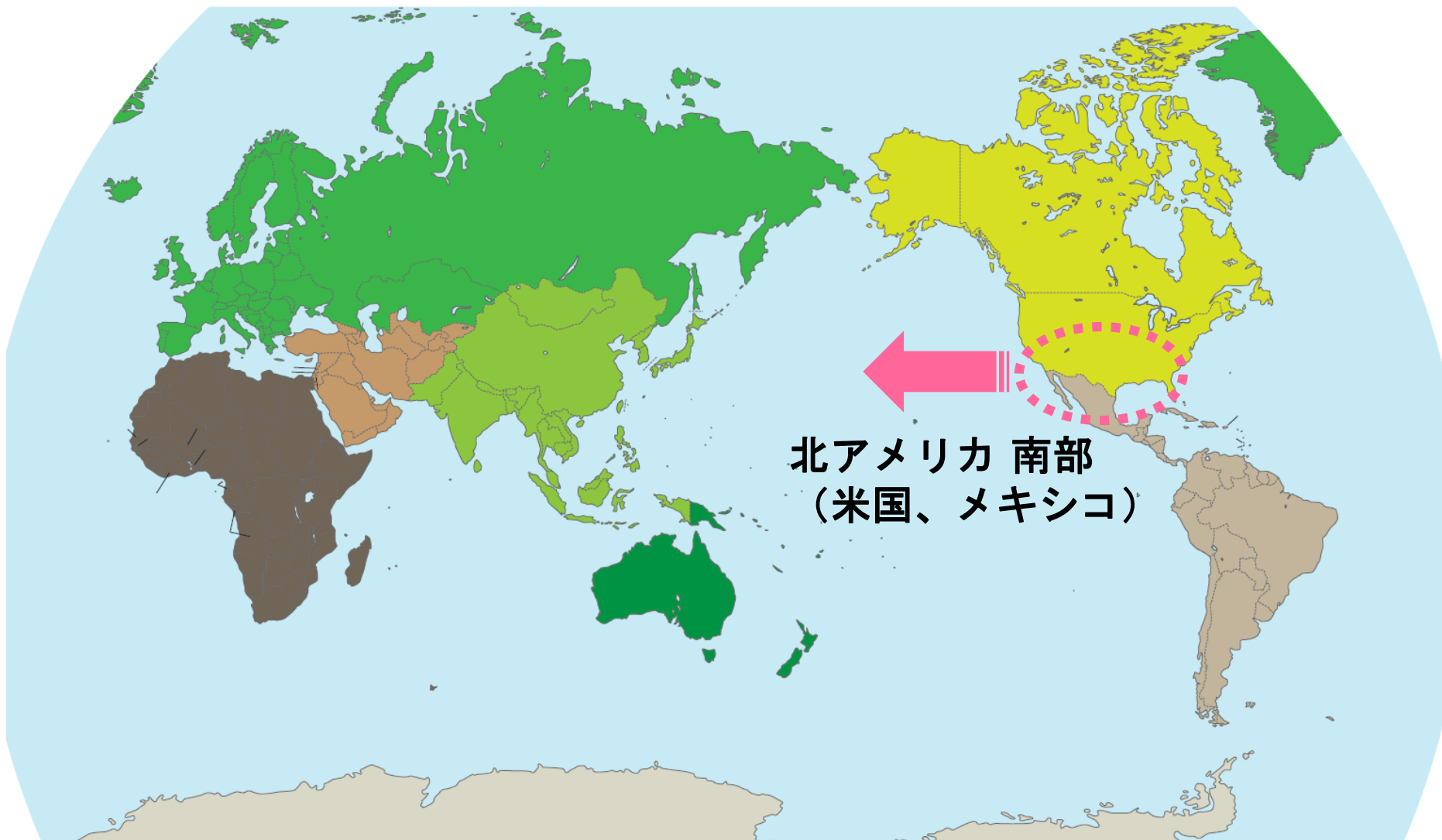
- ① 北アメリカ
- ② アフリカ
- ③ ヨーロッパ



正解・・・①

北アメリカ南部に生息

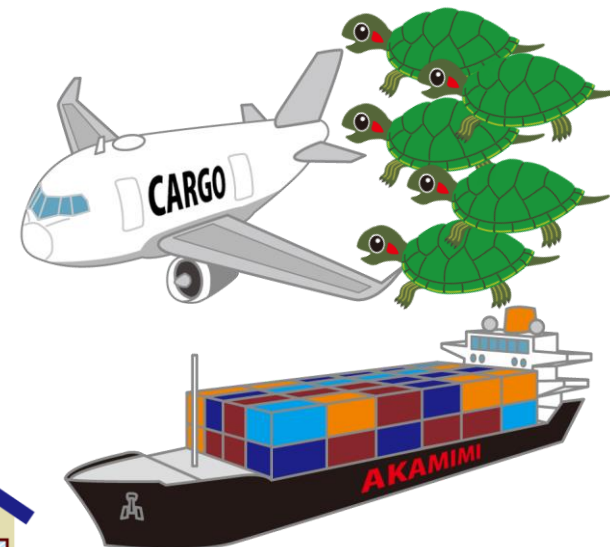
アカミミガメのふるさと



問題 2

では、なぜ
日本にやってきたのでしょうか？

ペットとしてやってきました



お祭の屋台などでも
売られていました。

資料提供：
認定NPO法人生態工房

ペットとしてやってきたはずのカメが なぜか野外にいます



川で泳ぐアカミミガメ

池の岸でひなたぼっこ
するアカミミガメ



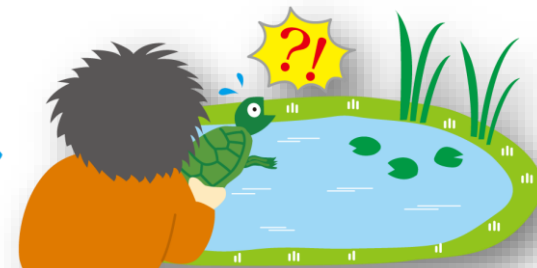
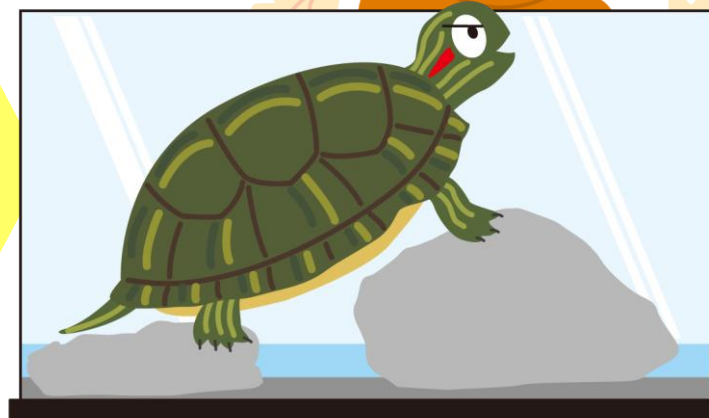
(c)2018 認定NPO法人生態工房

問題 3

なぜ、アカミミガメが日本の野外に生息しているのでしょうか？

飼いきれなくなった飼い主によって、 野外に捨てられました

30センチ近くにもなる！
40年長生きすることも！



小さいときはカワイイ

⇒大きくなると、噛み付くこともあり、
エサもたくさん食べます。

「飼うのは大変！」
カメが自力で逃げ出すこともあります。

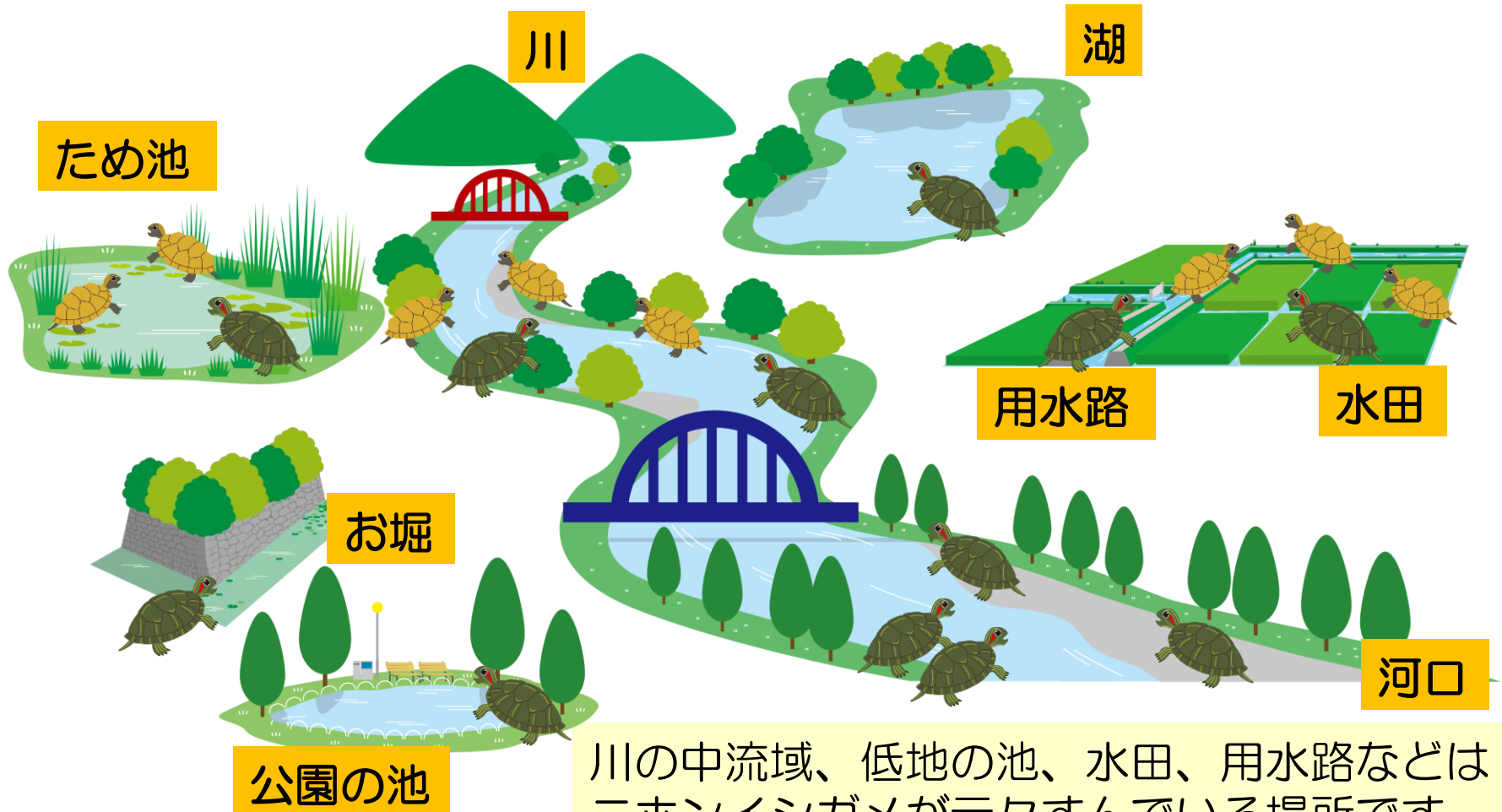
捨てられたアカミミガメが産卵して 生まれたカメも生息しています



(c)2018 認定NPO法人生態工房

野外には様々な大きさや年齢の
アカミミガメがすんでいます。
卵が見つかることもあります。

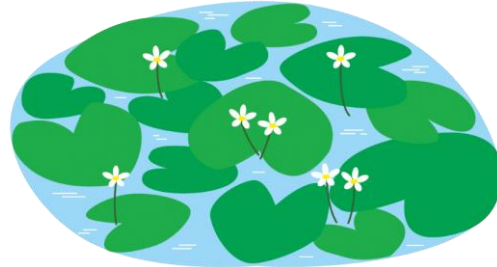
野外のアカミミガメはいろいろな場所にすみついています



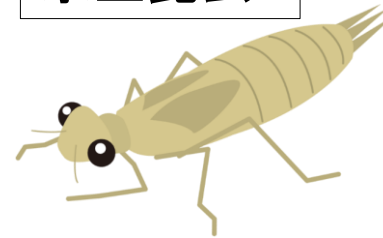
川の中流域、低地の池、水田、用水路などはニホンイシガメが元々すんでいる場所です。

アカミミガメは様々なものを食べます

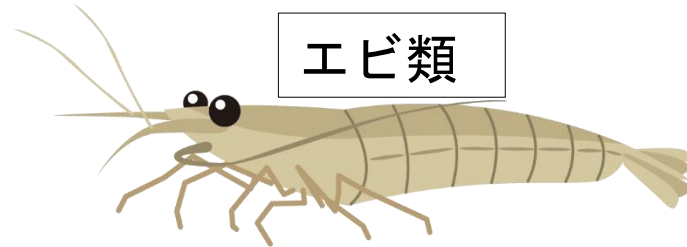
水草



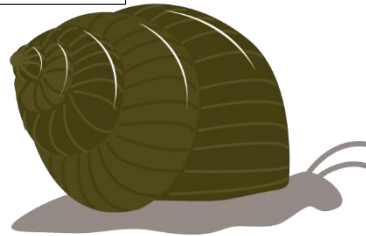
水生昆虫



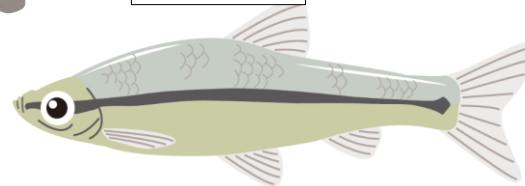
エビ類



貝類



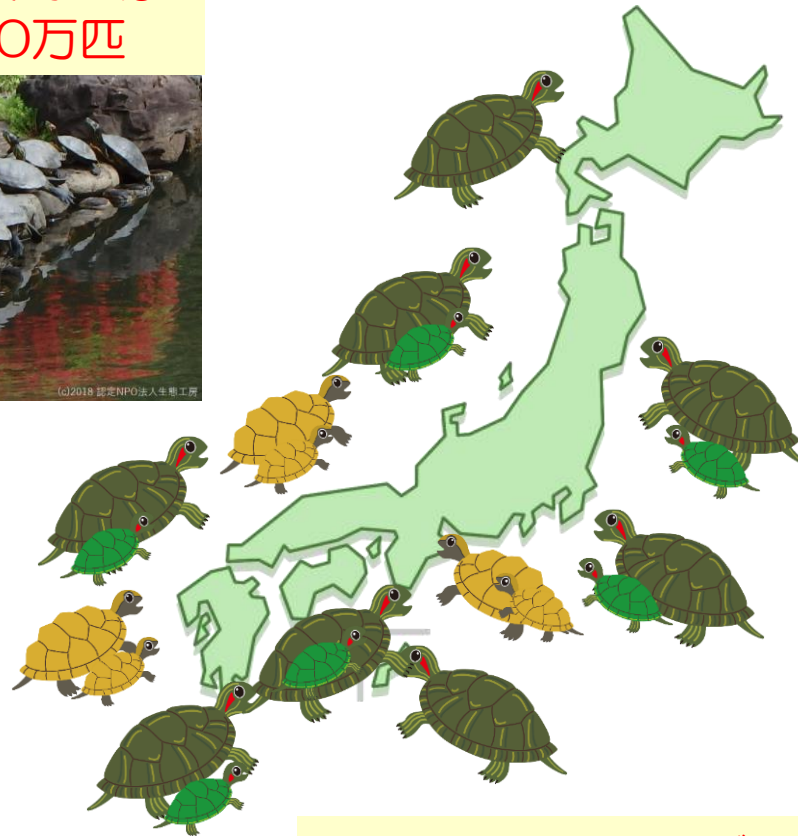
魚類



ニホンイシガメも雑食性で、アカミミガメとだいたい同じものを食べます。

野外のアカミミガメの数は増えています

推計では、アカミミガメは
全国の野外に約800万匹



外来種のアカミミガメは増えているけれど、
在来種のニホンイシガメは減っているよ…

問題 4

日本に元々すんでいるカメが減っているのに、
アカミミガメは増えています。

なぜでしょうか？

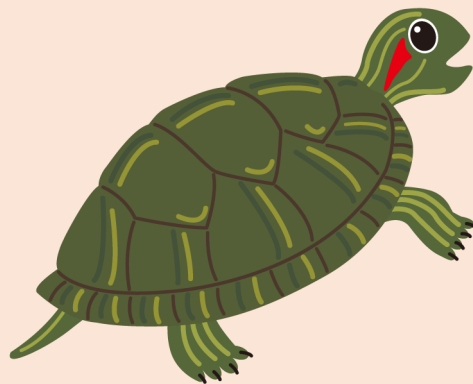
アカミミガメは一度にたくさんの卵を産み、 一年間の産卵回数も多い

	アカミミガメ	ニホンイシガメ
一度に産む卵の数	2～23個	1～12個
一年の産卵回数	ふつう2～3回。 多いと5回に達する。	ふつう1～2回。 多いと3回。
ふ化率	50%くらい	
ふ化してから成体(大人)になるまでの生き残り率	20%くらい	

アカミミガメはニホンイシガメより早く、 より大きく成長する

	アカミミガメ	ニホンイシガメ
ふ化した時の大きさ (甲長)	3cm	3.5cm
成体の大きさ (甲長)	オス:18~20cm メス:22~24cm (最大28cm)	オス:12~13cm メス:18cm前後 (最大20cm)
メスが産卵を 始める 年数と大きさ	ふ化して5年、 17~21cm	ふ化して10年、 15~17cm

アカミミガメが 起こしている問題



野外で増えているアカミミガメ



(c)2018 認定NPO法人生態工房

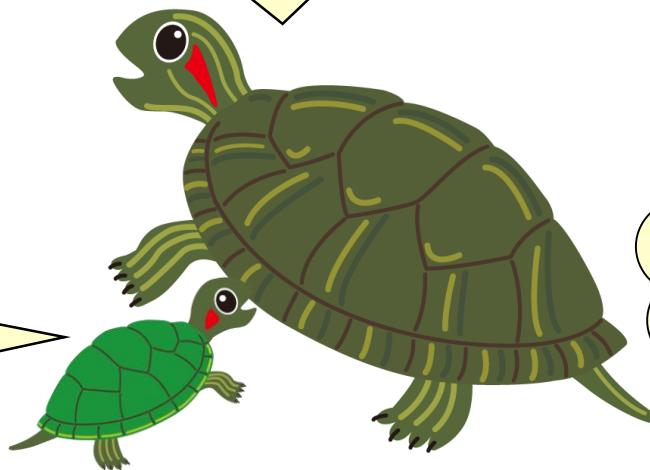


日本には元々い
なかった外来種

数が増えやすい性質

いろいろなもの
を食べる雑食性

様々な環境の水辺に
すむことができる



野外でたくさん
増えたら問題が
起きるかもしれ
ない…

問題 5

野外にいるアカミミガメは
どんな問題を起こしているので
しょうか？

アカミミガメによる被害

- 大量のアカミミガメがたくさん食べることで自然のバランスがくずれる問題
 - 水草を食べる
 - 元からいる様々な生き物を食べる
- ニホンイシガメと競合（ケンカ）する問題
 - エサのうばい合い
 - 日光浴や繁殖の場所のうばい合い
- その他、レンコンの新芽やイネを食べるなど農業への被害

水草を食べるアカミミガメ



カルガモのヒナを狙うアカミミガメ



撮影：認定NPO法人生態工房 (http://www.eco-works.gr.jp/stop_akamimi/1_1.html#04)

アカミミガメがいなくなると、在来植物が回復しました

場所：徳島県鳴門市

アカミミガメがたくさんいる状態



水生植物が見当たらない。
(2012年8月)

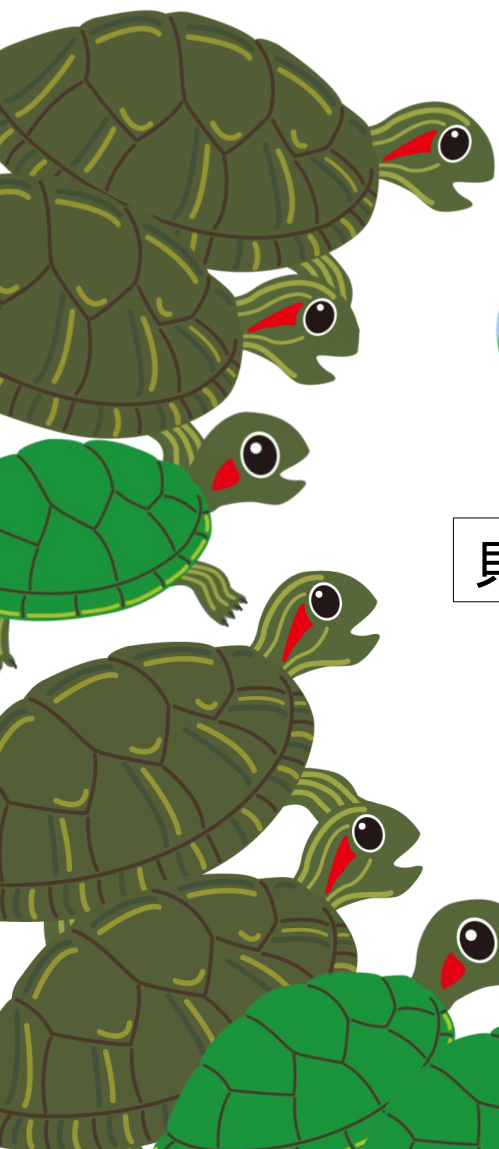
アカミミガメがいなくなった状態



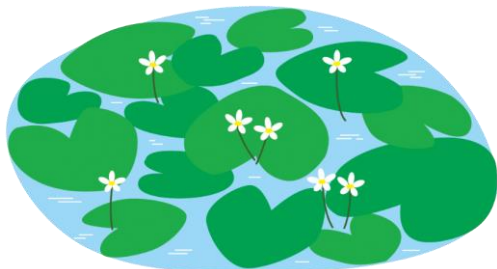
水生植物（ヒシ）が回復し水面を埋め尽くしている。
(2013年8月)

1年後

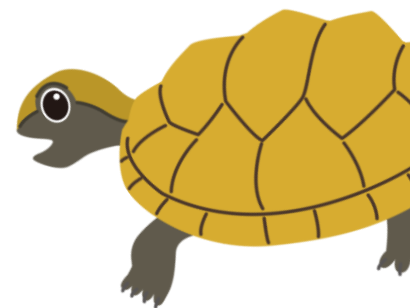
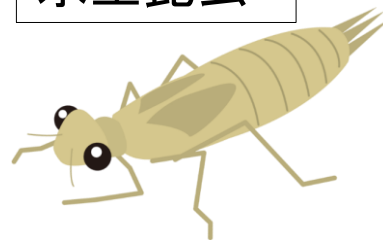
アカミミガメはニホンイシガメと “エサ”をうばい合う



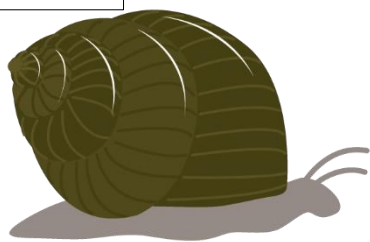
水草



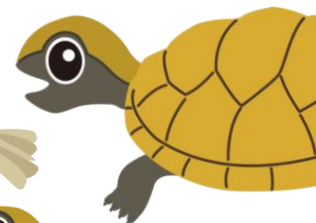
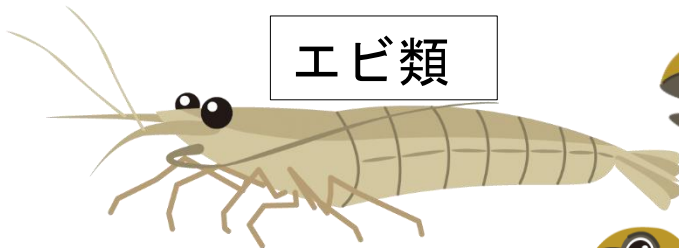
水生昆虫



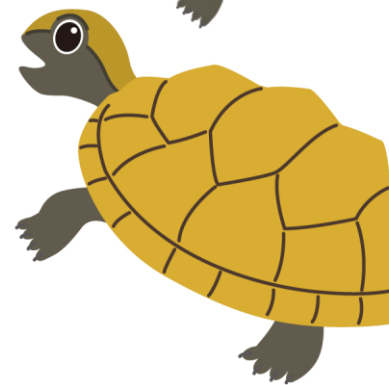
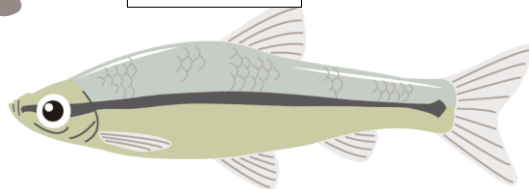
貝類



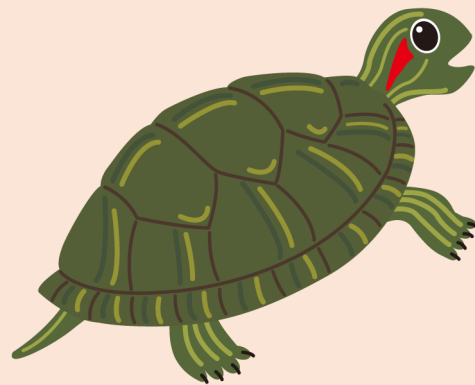
エビ類



魚類



アカミミガメを
増やさないために



まとめ

野外でアカミミガメを増やさない
ために、私たちに何ができるで
しょうか？

一度飼い始めたら最後まで飼い続けよう

- 捨てられたり逃げ出したりして野外にすみついたアカミミガメは、その地域のもともとの自然に問題をおこしてしまいます。
- 動物たちのためにも、捨てないで、最後まで大切に飼い続けましょう。

